



「これからの暮らし・健康・地域」を考えるきっかけに
～11月25日（日）多摩平にて対話型シンポジウム開催～

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）は、日野市と共催でこれからの暮らし、健康、地域を考えるきっかけづくりとして、「多摩平つながるヘルスケアシンポジウム」を、11月25日（日）にイオンモール多摩平の森（東京都日野市）にて開催します。

これは、健康づくり等に関する取り組みや地域活動が活発な多摩平地域において、「これからも自分らしく心身ともに健康に暮らし続けるためには何が必要か」を楽しみながら学び・考えることを目的として開催するものです。

当日は、社会参加・コミュニティ・認知症・フレイル予防・摂食嚥下等の専門家6名をゲストに迎え、シンポジウム参加者とゲストが対話をしながら進めるシンポジウムを実施します。



UR都市機構は、多摩平地域において、日野市や地域の方々と連携して多摩平団地の建替え、施設誘致、既存住棟の活用等により、医療福祉施設や多世代交流拠点等の充実を図ってきました。また、平成28年11月には日野市とUR都市機構で、「多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちづくり」の実現に向けた協定を締結し、自治体・事業者・多摩平地域にお住まいの方々の連携・協力のもと、今後もさらなる地域の魅力向上に向けて取り組んでいきます。

お問い合わせは下記へお願いします。

東日本賃貸住宅本部 ストック事業推進部 事業推進課

（電話）03-5323-2869

東日本賃貸住宅本部 総務部 総務・法務課

（電話）03-5323-2555

開催概要

- 1 日時 平成30年11月25日(日) 13:00~16:30(開場12:30)
(※報道関係者の受付は12:30から開始いたします。)
- 2 会場 イオンモール多摩平の森 3階イオンホール
(JR「豊田駅」北口徒歩約5分。詳細は別添の地図をご参照ください。)
- 3 内容 (1) 講演
事前に開催した「座談会」で出た問い・テーマをゲストに投げかけ、それらをふまえ、ゲストが各専門分野の観点から講演を行います。
(2) トークセッション
シンポジウム参加者とゲストが暮らし・健康・地域に関する各テーマについて話し合い、最後にゲストに総括していただきます。
- 4 開催主体 主催：UR都市機構 共催：日野市
企画・運営：studio-L (スタジオ・エル)
- 5 ゲスト
 - ・ 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授：辻 哲夫氏
《専門分野：社会保障政策、高齢者ケア政策》
 - ・ 東京大学高齢社会総合研究機構 教授：飯島 勝矢氏
《専門分野：フレイル予防(老年医学、老年学)》
 - ・ 東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長：栗田 主一氏
《専門分野：認知症(老年精神医学)》
 - ・ 東京都健康長寿医療センター研究所 研究副部長：渡邊 裕氏
《専門分野：口腔健康管理》
 - ・ 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授：堀田 聡子氏
《専門分野：地域包括ケア、地域共生》
 - ・ studio-L 代表：山崎 亮氏
《専門分野：コミュニティデザイン》(詳細は別添のチラシ裏面上段の「ゲストのご紹介」をご参照ください。)
- 6 参加費 無料
- 7 定員 150名(事前申込優先・先着順)
- 8 申込方法 11月19日(月)までにEメールにて申し込み
(申込アドレス) t_t_h_z@studio-l.org
(宛先) 多摩平つながるヘルスケアシンポジウム担当
(詳細は別添のチラシ裏面下段の「お申込み方法」をご参照ください。)

参 考

事前開催「座談会」の概要

今回のシンポジウムの事前プログラムとして、「多摩平つながるヘルスケア座談会」を10月に2回開催しました。各回とも、多摩平地域にお住まいの方や働く方、約30名にご参加いただき、ワークショップ形式で、暮らし・健康・地域の現状と未来について楽しく語り合いました。

- 1 開催日 第1回：平成30年10月3日（水）／第2回：10月26日（金）
- 2 会場 PlanT 日野市多摩平の森産業連携センター イベントスペース
- 3 テーマ 第1回：これからの暮らしを考える／第2回：私とまちの未来を考える



<事前開催の座談会で活発に意見を出し合う参加者>

多摩平地域におけるUR都市機構のこれまでの取組み等

昭和33年	多摩平団地 完成
平成9年	多摩平団地 建替事業着手
平成20年	多摩平の森 UR賃貸住宅完成
平成22年	日野市「多摩平の森地区重点地区まちづくり計画」策定を受け、多摩平団地の建替えに伴い生まれた敷地への施設誘致開始
平成23年	「住棟ルネッサンス事業」として、民間事業者による住棟活用開始
平成28年	多摩平の森「地域医療福祉拠点化団地」に位置付け 日野市と「多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちづくり」の実現に係る連携・協力に関する協定締結

【地図】

イオンモール多摩平の森3階 イオンホール



多摩平の暮らし + 健康づくり + 楽しさ = ???

多摩平 つながる ヘルスケア シンポジウム

2018
11/25 日曜日
13:00 - 16:30 (12:30開場)

シンポジウムでは何をするの？

多摩平地域における、一人ひとりの暮らし方に着目し、これからも自分らしく心身ともに健康に暮らし続けるためには何が必要か、話し合う場です。ゲストに社会参加・コミュニティ・認知症・フレイル予防・摂食嚥下等の専門家をお迎えし、一緒に考えます。

- 会場** イオンモール多摩平の森3F イオンホール
- 参加費** 参加無料
- 定員** 150名 (先着順)
- お申込み期限** 11月19日(月)まで

裏面の応募方法をご確認のうえ、Eメールにてお申し込み下さい。



多摩平

つながる ヘルスケア シンポジウム

2018

11/25 日曜日

13:00 - 16:30 (12:30 開場)

企画・運営



studio-L (スタジオ・エル)

全国で地域に住む人が自分たちの力で課題解決をする力をデザインの力によって支援する「コミュニティデザイン」をフィールドとする会社。

シンポジウム ゲストのご紹介 (敬称略)



専門分野：社会保障政策、高齢者ケア政策
辻 哲夫 (つじ てつお)

東京大学高齢社会総合研究機構特任教授。
東京大学法学部卒業後、厚生省(当時)に入省。厚生労働事務次官を経て、2009年4月から東京大学高齢社会総合研究機構教授を務める。現在、東京大学高齢社会総合研究機構特任教授。厚生労働省在任中に医療制度改革などに携わった。2011年より現職。



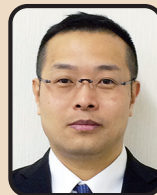
専門分野：フレイル予防(老年医学、老年学)
飯島 勝矢 (いじま かつや)

東京大学 高齢社会総合研究機構 教授
東京慈恵会医科大学卒業後、東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座助手・講師 米国スタンフォード大学医学部研究員を経て、現在、東京大学高齢社会総合研究機構教授。内閣府「一億総活躍国民会議」有識者民間議員にも就任。



専門分野：認知症(老年精神医学)
粟田 圭一 (あわた しゅいち)

東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長
1984年山形大学医学部卒業後、東北大学大学院助教授、仙台市立病院神経科精神科部長兼認知症疾患センター等を経て現職。日本老年精神医学会理事、日本認知症学会理事、日本老年医学会代議員、厚生労働省社会保障審議会介護保険給付費分科会専門委員等と務める。



専門分野：口腔健康管理
渡邊 裕 (わたなべ ゆたか)

東京都健康長寿医療センター研究所 研究副部長
北海道大学歯学部を卒業後、東京歯科大学、国立長寿医療研究センター勤務を経て現職。博士(歯学)、日本老年歯科医学会常任理事、東洋大学大学院食環境科学研究科客員教授等を務める。



専門分野：地域包括ケア、地域共生
堀田 聡子 (ほった さとこ)

慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科教授
東京大学特任准教授、ユトレヒト大学客員教授等を経て2017年より現職。博士(国際公共政策)。社会保障審議会・介護給付費分科会及び福祉社会、政策評価審議会等において委員を務める。「ウーマン・オブ・ザ・イヤー 2015」リーダー部門入賞。



専門分野：コミュニティデザイン
山崎 亮 (やまざき りょう)

studio-L代表/コミュニティ・デザイナー/社会福祉士
1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士(工学)。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。



誰でも参加していいの？

多摩平での地域づくりや活動に興味がある方はどなたでもご応募・参加いただけます。

参加費

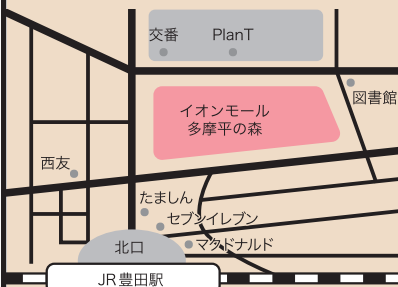
参加無料

お申込み期限

11月19日(月)まで

会場アクセス

イオンモール多摩平の森
3F イオンホール



〒191-0062
東京都日野市多摩平
2丁目4-1

JR中央線「豊田」駅
北口より徒歩5分

どうしたら参加できるの？

事前申込優先制です。
配布資料やお席の確保などありますので、ぜひ事前申し込みにご協力ください。

お申込み方法

以下の項目を記入し、Eメールにてお申し込み下さい。
※件名は【つながるヘルスケアシンポジウム】として下さい。

- ① 申込者氏名(ふりがな) ② お住いの地域 ③ 年代
- ④ 電話番号(日中に連絡のとれる番号) ⑤ 参加者人数

注意:「@studio-l.org」のドメイン指定受信設定をお願いします。
主催者からの連絡は原則としてメールで行います。

お申込み先

E-mail t_t_h_z@studio-l.org
(多摩平つながるヘルスケアシンポジウム担当あて)

問い合わせ 多摩平つながるヘルスケアシンポジウム担当

本シンポジウムでは、主催団体等による映像収録および写真撮影を行い、収録・撮影された映像・写真を使用する場合がございますので予めご了承下さい。